

## 校長あいさつ

第13代校長 鑪 (たたら) 英治



磯子高校は昭和52年に緑多き閑静な住宅街に開校し、今年で41年目を迎えます。これまで、地域の方々や保護者の皆様の温かいご支援とご協力に支えられながら、恵まれた環境の中で教育活動を展開してきました。しかし、県立高校改革により平成32年度に氷取沢高校と統合し、磯子高校は新校として生まれ変わることになりました。今まで一般コースに加え、グローバルコミュニケーションコースを開設しておりましたが、このコースも平成28年度をもって募集停止となりました。そして、平成29年度に入学した第41期生が磯子高校最後の入学生となり、平成30年度以降は募集停止となります。平成31年度は、この第41期生だけの学校となり、この学年が卒業したあと完校する予定です。学校が完校してしまうのはとても残念なことです。が、磯子高校の歴史と伝統、そして教育理念は必ず次の新校に引き継がれるものだと思います。

さて、本校はオーストラリアの高校と姉妹校交流を行っているほか、多くの留学生を受け入れるなど、学校全体で国際理解、異文化理解教育に取り組んでいます。いろいろな人々と交流し、自分の考えや思いを伝え、理解しあいながら協働する、そんなグローバル社会で求められる広い視野と見識を持った生徒を育成していきたいと思っています。また、本校はモラルある「よき市民」の育成を学校の柱としています。

「よき市民」とは社会の一員として自立し、他者と協働して社会に貢献できるモラルと常識をもった人材であると考えています。こうした人材を育成するため、本校ではきめ細やかな生徒指導を行ない、規範意識の醸成と社会的モラルの向上に努めています。本校の先生方はとても面倒見が良く、生徒一人ひとりに丁寧に向き合いながら、日々、厳しくも温かい指導を行っています。こうした指導により、生徒たちは落ち着いた環境の中で充実した学校生活を送ることができています。そんな生徒たちを校長として今後も精一杯応援し、「磯子愛」をもって今以上に輝ける学校にしていくつもりです。保護者の皆様、また地域、関係者の皆様、期限は限られていますが、最後まで頑張る磯子高校にぜひ温かいご支援とご協力をお願いいたします。